

1. 温室効果ガスの排出抑制

オフィス電力使用量などのグループ環境目標を設定し、省エネ活動、省エネ機器の導入及びエコドライブ等をグループ一体となって推進しています。

2015年度のCO₂排出量は、電力の使用量が増加したことから、2014年度より増加しました。また、CH₄の排出量が2014年度より増加しているのは、2015年8月の台風15号の影響による発電所の緊急停止に伴い、安全対策として燃料であるLNGガスを大気中に放散したことによるものです。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) >
温室効果ガスの排出量の詳細実績 (グループ会社)

温室効果ガス排出量

単位：千トン-CO₂

	2013年度	2014年度	2015年度
CO ₂ (二酸化炭素)※1	152.5	153.3	147.4※2
CH ₄ (メタン)※1	0.1	0.1	2.7
N ₂ O (一酸化二窒素)※1	0.0	0.0	0.0
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	115.3	87.6	67.1
PFC (パーフルオロカーボン)	—	—	—
SF ₆ (六フッ化硫黄)	0.0	0.0	0.0
合計	267.8	237.2	217.3

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。

※1：電力会社等への販売電力量分(発電用燃料の燃焼に伴う排出量)を除く。

※2：2015年度の販売電力量あたりのCO₂排出量(調整後)を使用して試算。

各種エネルギー使用量

	単位	2013年度		2014年度		2015年度			
		会社数	使用量	会社数	使用量	会社数	使用量		
電力	オフィス	百万kWh	41	25.5	42	23.5	41	22.8	
	工場等	百万kWh	33	178.8	33	181.1	33	206.9	
燃料	車両等	ガソリン等	千kl	44	6.8	45	6.9	45	6.7
	工業用※	冷暖房用	千kl	7	0.1	7	0.1	8	0.3
		A重油等	千kl	12	1.3	12	1.2	10	1.1
		LNG, LPG	千トン	7	1.2	7	1.2	7	1.1
熱	蒸気等	百万MJ	3	38.4	3	42.4	3	43.8	

※：電力会社等への販売電力量分(発電用燃料)を除く。

再生可能エネルギーの積極的な開発・導入

国産エネルギーの有効活用、並びに地球温暖化対策面で優れた電源であることから、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めています。

グループ各社のうち17社が太陽光・風力・バイオマス発電などの再生可能エネルギーの設備を導入しており、再生可能エネルギー設備の工事施工や設計業務に関わるグループ会社を含めると、20社が設備導入や開発に携わっています。

西技工業(株)では、再生可能エネルギーの中でも天候の影響が少ない小水力発電の建設に、地点選定から設計・施工まで一貫して取り組んでいます。

2015年6月には、鹿児島県始良市において「日本の滝百選」にも選ばれた龍門の滝などを形成する独特の大地にできた約50mの落差を利用した出力150kWの龍門滝発電所の営業運転を開始しました。営業運転開始による年間のCO₂排出抑制量※は約580トンに相当します。

また、2016年4月には、佐賀県鹿島市において、県営中木庭ダムの放流水を活用した出力196kWの中木庭発電所の営業運転を開始しました。営業運転開始による年間のCO₂排出抑制量※は約660トンに相当します。

※：2015年度の販売電力量あたりのCO₂排出量(調整後)を使用して試算。



西技工業(株) 龍門滝発電所(奥は落差約50mの水圧鉄管)

用語集をご覧ください

- >> 温室効果ガス
- >> PFC(パーフルオロカーボン)
- >> 再生可能エネルギー
- >> エコドライブ
- >> SF₆(六フッ化硫黄)
- >> バイオマス
- >> HFC(ハイドロフルオロカーボン)
- >> LNG(液化天然ガス)
- >> CH₄(メタン)
- >> LPG(液化石油ガス)
- >> N₂O(一酸化二窒素)
- >> 地球温暖化

【設備導入状況】

項目	会社数	総設備容量[kW]
太陽光発電	10	69,052
風力発電	3	64,390
地熱発電	1	5,000
水力発電	1	150
バイオマス発電	1	11,350
廃棄物発電	1	29,200
合計	17	179,142

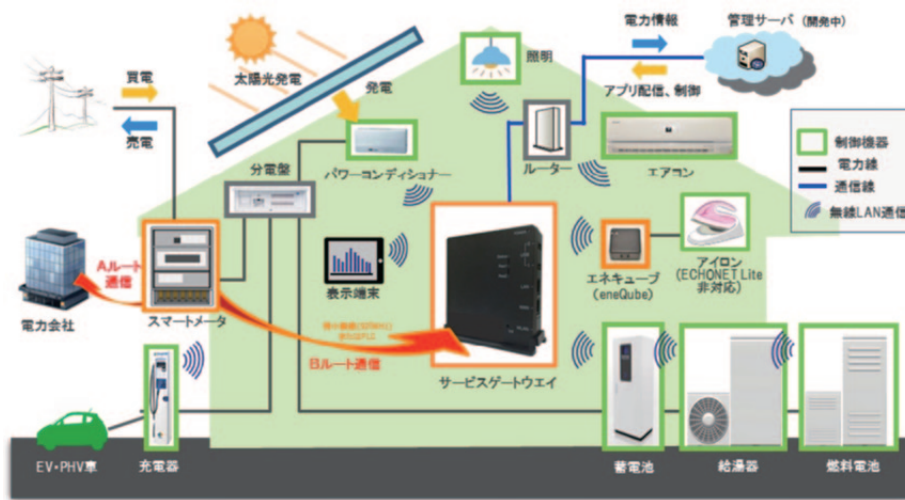
【設備導入・開発に取り組む会社(青文字は設備導入会社)】

- | | | |
|--|---|---|
| <p>太陽光発電(12社)^{※1}</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西日本プラント工業(株) ●崇徳アスティ太陽光発電(株) ●(株)九電工 ●九電テクノシステムズ(株) ●光洋電器工業(株)^{※2} ●(株)キューヘン^{※2} ●誠新産業(株) ●九電みらいエナジー(株) ●ニシム電子工業(株)^{※2} ●(株)電気ビル ●(株)キューデン・グッドライフ東福岡 ●九電不動産(株)^{※2} | <p>風力発電(9社)^{※1}</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西日本プラント工業(株) ●藤尾岳風力発電(株) ●奄美大島風力発電(株) ●西日本技術開発(株) ●(株)九電工 ●誠新産業(株) ●九電みらいエナジー(株) ●長島ウインドヒル(株) ●串間ウインドヒル(株) | <p>廃棄物発電(1社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)福岡グリーンエナジー |
| <p>水力発電(3社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西日本技術開発(株) ●西技工業(株) ●九電みらいエナジー(株) | <p>地熱発電(2社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西日本プラント工業(株) ●九電みらいエナジー(株) | <p>バイオマス発電(4社)^{※1}</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西日本プラント工業(株) ●(株)九電工 ●九電みらいエナジー(株) ●みやざきバイオマスサイクル(株) |
- ※1：グループ会社の子会社を含む。
 ※2：九州電力の研究設備として設置。

温室効果ガスの排出抑制への貢献

九電テクノシステムズ(株)では、エアコンや照明機器等の電力使用量の確認や起動・停止などの操作が、スマートフォン等で可能となるネットワーク機器(サービスゲートウェイKECG01-1、エネキューブKEM115-1)を開発し、家庭での効率的なエネルギー管理や快適なくらしに貢献しています。

九電テクノシステムズ(株) HEMS(Home Energy Management System)イメージ図



※「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの登録商標です。
 ※OSGIとは、Open Services Gateway initiativeの略で、遠隔から管理できるJavaベースのサービスプラットフォームです。
 ※eneQube(エネキューブ)は九電テクノシステムズの登録商標です。

2. オゾン層の保護

オゾン層を破壊するフロン類の回収を徹底するため、グループ環境目標を設定し、フロン類の排出抑制にグループ一体となって取り組んでいます。

2015年度の保有量については、機器の更新等はあったものの、2014年度と同程度となっています。

オゾン層破壊物質保有量等

単位：kg

	2013年度		2014年度		2015年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
CFC	保有量	16,400	5	6,900	5	6,900
	排出量	300		0		
HCFC	保有量	50,600	24	64,700	23	64,100
	排出量	600		1,400		
ハロン	保有量	6,900	7	6,000	8	6,100
	排出量	0		0		
単位：ODPkg						
オゾン層破壊物質排出量 [※]	330		30		10	

※：各フロン類のオゾン層破壊係数ODP値を用いて、CFC-11重量相当に換算。

用語集をご覧ください

- >> オゾン層
- >> ハロン
- >> ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)
- >> フロン
- >> オゾン層破壊物質
- >> CFC(クロロフルオロカーボン)
- >> オゾン層破壊係数
- >> HCFC
- >> CFC-11
- (ハイドロクロロフルオロカーボン)
- (トリクロロフルオロメタン)